廃棄物処理法と 山梨県環境整備センターについて

平成21年6月23日 財団法人山梨県環境整備事業団

廃棄物の定義

廃棄物とは・・・

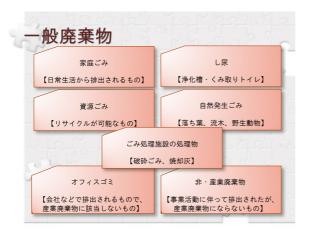
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第2条

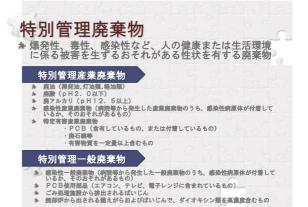
ごみ、粗大ごみ、燃えがら、汚泥、ふん尿、廃油、 廃酸、廃アルカリ、動物の死体その他の汚物また は不要物であって、固形状または液状のもの

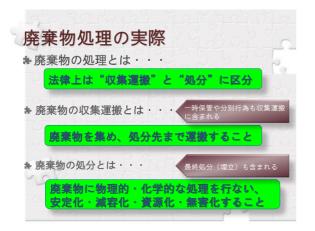
環境省課長通知(H17.8.12)

占有者が自ら利用し、又は他人に有償で売却することができないために不要になったもので、これらに該当するか否かはその性状、排出の状況、通常の取り扱い、取引価値の有無、占有者の意思等を総合的に勘案して判断すべきもの

	廃棄物の種類	排出元の業職等	条件等
1	燃えがら		
2	汚泥		
3	廃油		
4	廃酸		
5	廃アルカリ		
6	廃プラスチック類		
7	ゴムくず		
8	金属くず		
9	ガラス・コンクリート及 び陶磁器くず		がれき類を除く
0	紙くず	建設業、パルプ・紙(紙製品)製造業、新聞業、 出版業、製本業、印刷物加工業	
1	木くず	建設業、木材・木製品製造業、パルブ製造業、輸 入木材卸売業、リース業、貨物流通用パレット	
2	繊維くず	建設業、繊維工業	
3	動植物性残さ	食料品製造業、医薬品製造業、香料製造業	原料として利用した固形状の不要物
4	動物性固形不要物	と畜場、食鳥処理場	獣畜および食兆に係る固形状の不要物
5	鉱さい		
6	がれき類	工作物の新築、改築または除去	
7	動物のふん尿	畜産農業	
8	動物の死体	畜産農業	
9	ばいじん	大気汚染防止法に規定するばい煙発生施設または 廃棄物焼却施設	集じん機で集められたものに限る
2.0	1~19を処理したもの		1~19に該当しないもの

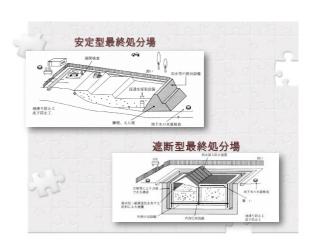


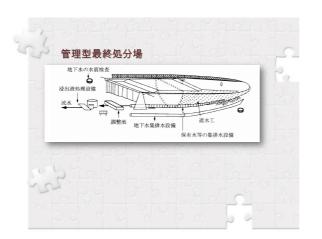












排出事業者の処理責任

事業者は、その産業廃棄物を自ら処理しなけれ ばならない

事業者は、自らその産業廃棄物を処理するときには、産業廃棄物処理基準に従わなければならない

事業者は、その産業廃棄物の処理を他人に委託 する場合は、許可業者等に委託しなければなら ない

事業者は、その産業廃棄物を委託する場合には、 委託基準に従わなければならない